

家庭用太陽光発電システムの設置補助金を増額

予算額 13,475千円

地球温暖化対策の一環として新エネルギーの利用を促進するため、一般住宅への太陽光発電システムの設置補助を増額します。

家庭用の太陽光発電システムは、国や県が相次いで補助制度を打ち出しているため、導入件数の増加が見込まれています。平塚市では、平成21年度の補助額を、前年度の倍増(発電能力1kwあたり10,000円を、同20,000円)とすることにより、家庭レベルでの新エネルギー利用を推進させます。

【太陽光発電システム】

太陽光発電システムは、一般に発電能力1kwの装置で年間約1,000kwh発電できるとされています。これは、一般家庭の電気代に例えると約22,000円、二酸化炭素の排出量では約430kg CO₂/年に相当します。

平塚市の補助内容

発電能力1kwあたり20,000円(上限80,000円)を補助
 先着順で年間70件を補助(予定)
 申請は平成21年4月1日から受付(予定)

平塚市では、平成16年度に「太陽光発電システム設置費補助制度」を導入し、一般家庭への普及を支援してきました。

補助実績：284件(平成21年2月5日現在)

神奈川県が創設する補助制度(予定)は、発電システム1kwあたり35,000円(上限120,000円)で、市の補助に上乗せして支出される予定です。

国の補助(1kw70,000円、上限700,000円。21年度は予定)の窓口は、「社団法人神奈川県土地建物保全協会」となっています。

横浜市中区日本大通33 / 電話045-201-9967

【例：4kwの発電システムを設置する場合の補助額】

平塚市	4kw × 20,000円 =	80,000円
神奈川県	4kw × 35,000円 = 140,000円	120,000円(上限)
国	4kw × 70,000円 =	280,000円
	合計	480,000円

【問い合わせ先】

環境部 環境政策課 環境政策担当 平野
 電話 0463-23 1111 内線2266

ひらつか海岸利用推進事業（コート増設・観覧施設整備）

予算額 39,370千円

湘南ひらつかビーチパークにスポーツコートを増設するほか、ビーチバレーボールコートの観覧施設を整備します。平成19年度から取り組んでいる「湘南の新たなビーチスポーツ拠点づくり」プロジェクトの一環。年間を通してビーチスポーツが楽しめる海浜レジャーの拠点として、ビーチスポーツの普及・振興を図るとともに、平塚海岸の魅力を高めます。

湘南の新たなビーチスポーツ拠点づくりプロジェクト

平塚初となる海岸部のネットワークとして「浜辺のさんぽ道」を整備。また、ビーチスポーツコートを増設するなどして、ビーチスポーツ愛好家だけでなく、老若男女が年間を通して海浜レジャーを楽しめる環境を整備し、健康増進にも寄与する海岸環境を創出します。

成果目標 平成22年度の湘南ひらつかビーチパーク来場者数：50万人
（平成19年度の年間来場者数：約38万9400人）

ビーチスポーツコート拡大（予定）

施設概要 ビーチバレーコート（6面）/ビーチサッカーコート（1面）/
ビーチフットボールコート（1面）
拡充面積 計約5,000平方メートル
工期 5月着工/6月末竣工

観覧施設の整備（予定）

ビーチセンターの南側にビーチスポーツが観覧できる施設を整備します。
施設規模 総延長60メートルのうち約30メートル
収容人数 約120人
工期 10月着工/平成22年2月末竣工

【湘南ひらつかビーチパーク】

神奈川県総合イベント「サーフ'90」が平成2年に開催されたのを機に、未来型ビーチの一つとして「湘南ひらつかビーチパーク」が誕生しました。同7年7月には「湘南ひらつかビーチセンター」がオープン。同20年からは指定管理者制度を導入し、ビーチセンターの管理運営を行っています。

所在地 平塚市高浜台33-1

施設 湘南ひらつかビーチセンター/ビーチバレーボールコート（10面）/
ビーチサッカーコート（1面）/ビーチフットボールコート（1面）/
3on3コート（1面）/広場 など

【問い合わせ先】

まちづくり事業部 みどり公園・水辺課 水辺・海浜担当 篠崎
電話 0463-23 1111 内線2621

建築物の耐震性向上促進事業

予算額 14,302千円

災害に強いまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震診断内容を向上させるほか、低所得者向けの補助制度を創設するなどして耐震補強工事に伴う助成制度を拡充します。また、建物の耐震化をテーマとしたシンポジウムを開催するなどして啓発活動を進め、耐震化率の向上を図ります。

木造住宅耐震化補助制度の拡充

対象 木造2階建て以下の戸建て住宅

施行 平成21年4月1日

耐震診断を精密化

建物の耐震診断を、これまでの「簡易診断法」から「一般診断法」に変更。現場調査や診断計算方法の精密化を図ります。

耐震診断に要する費用補助の拡充

市の補助を増額し、個人負担を1万円から5千円に軽減します

耐震診断補助額 75,000円 (20,000円)

*現在の耐震診断費(簡易診断法)は30,000円で、精密化すると(一般診断法)80,000円となります。

耐震補強工事、現場監理の補助を増額

耐震補強工事 600,000円(500,000円)

耐震補強設計 50,000円(50,000円)

現場監理 30,000円(20,000円)

住民税非課税世帯の住宅に対する補助を創設

耐震補強工事 900,000円

耐震補強設計 75,000円

現場監理 45,000円

()内は現行制度の補助額

耐震化普及啓発事業

建物の耐震化をテーマとする市民を対象としたシンポジウムを開催し、耐震改修の普及を図ります。(予定)

テーマ 建物の耐震化普及に関すること

日時 平成21年秋ごろ

場所 100人規模が収容できる施設

講師 耐震化に詳しい有識者等

【問い合わせ先】

まちづくり政策部 建築指導課 構造審査担当 高橋

電話 0463-21-9732

小中学校体育館耐震補強事業

予算額 781,650千円

昭和56年（新耐震設計基準）以前に建築された小中学校体育館の耐震性を高め、災害時の倒壊を防止することにより、児童・生徒などの安全確保を図ります。

【小学校】 227,250千円

平塚市内にある28校の市立小学校のうち、18校の体育館が昭和56年（新耐震設計基準）以前に建築されました。このうち、1校は「耐震の基準を満たしている」と診断結果が出ており、6校は耐震補強工事が完了しています。今後、残り11校について耐震補強工事や改築工事を実施します。

〔平成21年度着手〕

耐震補強設計 4校（みずほ小学校など）

耐震補強工事 2校（城島小学校／金目小学校）

【中学校】 554,400千円

平塚市内にある15校の市立中学校のうち、9校の体育館が昭和56年（新耐震設計基準）以前に建築されました。このうち3校の耐震補強工事が完了しており、今後は残り6校について耐震補強工事や改築工事を実施します。

〔平成21年度着手〕

耐震補強工事 3校（金旭中学校／山城中学校／江陽中学校）

スケジュール

平成22年 3月 耐震補強設計（小学校4校）完了予定

3月 耐震補強工事（小学校2校、中学校3校）完了予定

【問い合わせ先】

教育総務部 教育施設課 課長 高山

電話 0463-35-8115（直通）

わたしがえらんだ いわさきちひろ 展

予算額（他の展覧会開催を含む総額） 45,431千円

子どもに対する限りない愛情と平和への願いを、みずみずしいタッチと繊細で豊かな色彩で描き、優しく懐かしい「いわさきちひろの世界」を紹介します。

子どもから大人までの幅広い年齢層を対象とした展覧会のため、市内外からの多くの来館者が期待できます。

わたしがえらんだ いわさきちひろ展 概要

- ・いわさきちひろ美術館（東京都練馬区／長野県安曇野市）の所蔵作品の中から、代表作品の原画約120点、ピエゾグラフ作品約30点、遺品・貴重書籍等を厳選して展示
- ・ちひろ作品の全体像をつかめる、神奈川県内でははじめての本格的なちひろ展
- ・ちひろのアトリエを復元して公開
- ・展覧会に先立ち、お気に入りのちひろ作品とその感想など、自由なメッセージを一般から募集

主催	平塚市美術館／ちひろ美術館／読売新聞東京本社
会期	平成21年7月18日（土）～8月30日（日）
会場	平塚市美術館（平塚市西八幡1-3-3）
開館時間	午前9：30～午後6：00（入場は午後5：30） 開館時間を1時間延長
休館日	毎週月曜日　ただし7月20日（月・祝）は開館し、翌日は休館
観覧料	一般800（640）円、高大生600（480）円 （ ）内は20名以上の団体料金 中学生以下、第2・第4土曜日の高校生は無料 平塚市民で身体障害者手帳、療育手帳の交付をうけた方及び付添の方 平塚市民で60歳以上の方は無料

関連企画

- ちひろ作品へのメッセージ募集
- 新聞折り込みチラシにより、湘南地区世帯へ募集
- 市内小・中学校への募集チラシの配布
- 安曇野ちひろ美術館館長特別講演会（予定）
- ギャラリートーク（学芸員の展示解説）
- 読書会（朗読イベント）
- 子どもむけワークショップ（体験講座）
- 友の会むけギャラリートーク
- DVD上映

【問い合わせ先】

社会教育部 美術館 学芸担当 土方
電話 0463-352111

障害者在宅福祉サービス事業を充実（行動援護加算）

予算額 2,850千円

障害者自立支援法で実施が定められている市独自の事業（地域生活支援事業）において、事業者が行動上の著しい障がいがある利用者にサービスを提供した場合、市が事業者を支払う報酬額を加算します。

これまでの重度重複障害者や重症心身障害者に対する加算と同様に、特定の支援に対する加算の対象範囲を拡充し、障がい児者に対する支援サービスを強化するとともに、事業者の受け入れ体制の充実を図ります。

事業概要

多動等、行動上の著しい障がいのある利用者が、障がい児タイムケア事業等のサービスを利用した際、サービスの報酬額に「行動援護加算」を加算します。

対象事業	障がい児タイムケア／日中一時支援／地域活動支援センター事業
加算対象者	多動等、行動上の著しい障がいがある利用者に対して、事業者がマンツーマンによるサービスを提供した場合
加算額	5,000円／1回
実施時期	平成21年4月分の報酬から加算

平成20年度から障がい児タイムケア事業等で「重度重複・重症心身障害者加算」を実施しましたが、この加算の対象者と同様に手厚い支援の必要がある、行動上の著しい障がいがある利用者についても、報酬額に加算が求められていました。

【地域生活支援事業】

障害者自立支援法は、国がサービスの内容を指定する「自立支援給付」と市町村が地域の実情に応じて独自にサービス内容を決めた「地域生活支援事業」から成り立っており、平塚市では地域生活支援事業として、次の11の事業を実施しています。

相談支援／地域活動支援センター／移動支援／日中一時支援／障がい児タイムケア／障がい児放課後児童クラブ利用推進／障がい者ケア付き住宅／日常生活用具給付／訪問入浴サービス／コミュニケーション支援／障がい者就労支援強化

【問い合わせ先】

福祉部 障がい福祉課 地域生活支援担当 間宮

電話 0463-21-8774

小児医療費助成事業の対象範囲を拡大

予算額 629,267千円

安心して子どもを産み育てやすい環境づくりの推進に向け、子育て家庭への経済的支援策として、小児医療費助成事業の対象範囲を拡大します。

事業の概要

医療費助成の対象範囲を拡大（年齢引き上げと所得制限緩和）します

対象者 約21,400人（現行：約14,000人／新規：約7,400人）

予算額 約629,267,000円

（うち県補助金：約142,145,000円）

適用開始 平成21年4月1日の診療から

= 内訳 =

対象年齢を拡大

通院医療費を助成する対象年齢を、現行の「就学前小児」から「小学校3年生まで」に引き上げます。

新規対象者 約6,100人

所得制限廃止

所得制限を設けない範囲を、現行の「0歳児のみ」から「就学前小児」に拡大します。

新規対象者 約1,300人

【問い合わせ先】

健康・こども部 こども家庭課 児童手当・医療担当 内田

電話 0463-21-9612

妊婦健診の公費負担制度を拡充

予算額 118,786千円

子どもを安心して産み育てる環境づくりの推進に向け、妊婦健康診査の受診費用を補助します。これまで、指定する診療内容の範囲内で5回分を公費負担（受診費用の一部を補助）していた制度を拡充し、14回分の受診費用の一部を対象にします。

健やかな赤ちゃんを出産するには、妊娠経過や胎児の発育状況を確認するとともに、異常を早期発見・治療し、母体や胎児の健康を図ることが必要。子育て家庭の経済的負担を軽減し、積極的な妊婦健康診査の受診を促進します。

事業の概要

公費負担額	1回目：10000円 2回目～14回目：各3000円
補助方法	母子健康手帳発行時に「妊婦健康診査費用補助券」（14回分）交付
対象者	平塚市内に住民票があり、平成21年4月1日以降に母子手帳を発行する妊婦（ ）
補助期間	妊娠中の適切な時期での受診を勧めますが、妊娠経過に伴う補助期間（各補助券の使用期間）は定めません。
契約機関	神奈川県産科婦人科医会

平成21年3月31日以前に母子手帳を発行した妊婦には、追加補助券を郵送します。

【平塚市の妊婦健康診査公費負担制度】

平成19年1月に厚生労働省より「妊婦健康診査の公費負担の望ましいあり方について」の通知があり、平塚市では20年4月1日から、それまで2回だった妊婦健康診査の補助回数を5回に拡充し、安心・安全な出産環境の整備を進めています。

平成20年4月～10月の受診状況

母子健康手帳発行者数：1517人

1回目：1554人 / 2回目：1704人 / 3回目：1202人

4回目：1200人 / 5回目：1068人

【問い合わせ先】

健康・こども部 健康課 健康づくり担当 大内・古畑

電話 0463-55 2111（保健センター）

放課後児童クラブ〔学童保育〕を増設（放課後児童健全育成事業）

予算額 187,040千円

利用者が増加傾向にある市内の放課後児童クラブ（学童保育）を4カ所新設し、放課後における留守家庭児童の健全育成を図ります。

これまで、平塚市が委託している学童保育は28カ所。一部地域では利用児童数の増加等に伴い、施設の狭隘化などが課題になっていました。対象地域で放課後児童クラブの分割・増設を進め、保育環境の改善と待機児童の解消を図ります。

新設する放課後児童クラブ

はなみず児童クラブ（花水小・なでしこ小、利用見込み人数45人）

花水小学校区となでしこ小学校区の2カ所の放課後児童クラブ（合計利用者数138人）の利用児童が増加したため、新たに1カ所増設して両小学校区に対応します。

既設クラブと今後の利用者数（見込み）

- ・なかよしフレンド学童保育会（花水小／利用見込み人数50人）
- ・なでしこ児童クラブ（なでしこ小／利用見込み人数45人）

そうぜん第2放課後児童クラブ（崇善小、利用見込み人数40人）

崇善小学校区（73人利用）の放課後児童クラブを分割し、2カ所に対応します。

既設クラブと今後の利用者数（見込み）

- ・そうぜん放課後児童クラブ（崇善小／利用見込み人数40人）
- 「そうぜん第1放課後児童クラブ」に名称変更

サクラはうす（相模小、利用見込み人数15人）

神田小学校区と相模小学校区の両区に対応していた放課後児童クラブ（利用者数50人）に1カ所増設し、計2カ所に対応します。

既設クラブと今後の利用者数（見込み）

- ・神田相模学童クラブ（神田小・相模小／利用見込み人数50人）

（仮称）城島学童保育会（城島小、利用見込み人数未定）

城島小学校区と横内小学校区の両区に対応していた放課後児童クラブ（利用者数65人）に1カ所増設し、計2カ所に対応します。

既設クラブと今後の利用者数（見込み）

- ・わくわく美里学童クラブ（横内小・城島小／利用見込み人数60人）

（ ）内は対応する小学校／利用者数は平成20年4月現在

城島小学校区の放課後児童クラブ名称は未定。また現在、利用児童を募集していますが、利用予定児童数が市の委託基準（在籍児童人数5人以上）に満たない場合は、平成21年度の開設を見送ります。

【問い合わせ先】

健康・こども部 青少年課 青少年育成担当 島津
電話 0463-32-7029（月曜休館）

松原小学校校舎増築事業

予算額 236,030千円

JR平塚駅までの徒歩圏内に位置する松原小学校区では、マンション建設等に伴う児童数が増加傾向にあります。教室不足を解消に向けて新校舎を増築し、快適な教育環境の整備を図ります。

平塚市立松原小学校（平塚市天沼7-10 / 宮尾菊代校長）

【児童数の推移】

平成21年1月 399人（15クラス）

平成25年3月推計 534人（20クラス）

内容

体育館と校舎の間の既存渡り廊下を解体して、3階建ての校舎を増築します。

増築面積 約757平方メートル

施設構造 鉄筋コンクリート造3階建

施設概要 普通教室5教室、13人乗りエレベーター（1基）、廊下、階段

スケジュール・予定

平成21年5月 既存渡り廊下解体工事

7月 校舎増築工事

平成22年3月 校舎増築工事完了予定

【問い合わせ先】

教育総務部 教育施設課 課長 高山

電話 0463-35-8115